

## わが子を『メシが食える大人』にする思春期の子育て

2016年12月3日

花まる学習会・スクールFC 松島伸浩

### 1. 子どもたちの未来を考える。

- (1) だれも経験したことのない激動の社会に生きる。  
・AI、ロボット、少子高齢化、経済格差、異常気象・・・。
- (2) 大学入試、就職、結婚。
  - ① 親も知らない新しい入試。アクティブラーニングはなぜ必要なのか。
  - ② 今どきの大学生…真面目に出席。しっかりと就職準備。
  - ③ 結婚が当たり前ではなくなっている。

### 2. 子どもの成長、見えるもの見えないもの。

- (1) 親のためにがんばる時代はわかりやすい。
- (2) 小学校高学年からはわかりにくくなる。

### 3. 子育ての目的は自立した大人に育てること。

- (1) これからは長所を伸ばす教育こそ大事。
- (2) ルールはみんなで厳格に守る。
- (3) 欲しがっているものを一年待たせる。
- (4) 家族団らんの時間を作る。
- (5) 親は子どもにいつまで関わるべきか。

### 4. 思春期の子育て。

- (1) 思春期の暴言の受け止め方。
- (2) 最近多い反抗期がない子は大丈夫か。
- (3) 過去のことは水に流す。
- (4) 木を見ずして森を見る。
- (5) 子どもが親にされて一番嫌なこと。
- (6) 目標設定はどうしたらいいのか。
- (7) 思春期のほめ方、しかり方。
- (8) 完璧じゃなくていい。親ももっと人生を楽しもう。
- (9) どうしようもなくなったら、誰かに頼ったほうがいい。
- (10) 最後はわが子を信じて、あきらめないこと。

### 5. 親としてわが子に何を伝えるのか。

- (1) ルール、約束は守る。社会はルールでできている。人間関係は信頼で成り立っている。
- (2) ずるはしない。うそはつかない。誠実さはどこに行っても受け入れられる。
- (3) まずはやってみる。失敗してもまたやり直せばよい。別な道は意外にあるもの。

### 6. 最後に。

実際に子育てに関わる時間は長いようで短いものです。学生、社会人となって家を出てしまえば、一年に何度か帰省したとしても、親子で過ごせる時間は一年にも満たないことに気づかされます。心配や苦勞は絶えませんが、巣立つ日が来るまで、家族で楽しい思い出をたくさん作っていただきたいと思います。

そして、親が堂々と前向きに生きましょう。時代が変わっても子は親の背中を見て育ちます。